

令和3年度経営発達支援事業 第1回事業評価検討委員会 議事録

日時 令和4年4月15日(金) 14:00~15:30

場所 サンピア・アキ4階 鳳凰の間

出席者 出席名簿のとおり

議事録作成者 檜山(広島安芸商工会)

1. 開会挨拶・・・広島安芸商工会 吉田会長

5年間の経営発達支援事業で、経営計画作成700件超、新規需要開拓支援350件以上を行い、事業者の売上増加、収益力向上に貢献できた、とあいさつがされた。

2. 出席者紹介・・・広島安芸商工会 福間局長

江川委員長より

新型コロナウイルス感染症のまん延状態が続く中、支援機関の皆様方の努力に感謝するとともに、事業結果を踏まえて次の計画、行動につなげていただきたい、と述べ評価委員会を開始した。さらに、事業評価検討委員会の目的について、説明および確認をした。

3. 議事内容

セクション発表

江川委員長より、進行方法として3セクションずつの発表、評価の決定を行っていくことの説明がされた。

① 地域経済動向調査セクション・・・檜山

セクション活動の内容、目的を説明。具体的な実施内容の説明は事業報告書のとおり。自己評価はC。江川委員長からご質問シートの回答にて、評価C⇒Bが適当ではないか、と意見があったことの説明。

② 経営状況の分析に関するセクション・・・大形

まず、セクションの活動内容、目的を説明。啓発セミナーは3商工会で、合同で1回の開催。当初、リアルとオンラインのハイブリット開催を予定していたが参加者数は少なかった。また、コロナまん延のためオンラインのみでの開催。具体的な実施内容の説明は事業報告書のとおり。自己評価はD。

③ 事業計画策定支援に関するセクション・・・大元

具体的な実施内容の説明は事業報告書のとおり。自己評価はC。

(質疑等)

①～③に対する質問、意見等はなかった。

江川委員長より、地域経済動向調査へのご質問シートの回答について、「MieNaは3年程度前のデータであり、特にコロナ禍の現在は参考にしづらい。マーケット水準については、世の中の状況を踏まえて、行政機関のデータを活用するなど柔軟に対応してもよいのではないかと提案。評価はBでよいと思う。」と説明があった。他の委員全員へも確認の結果、最終評価はBとなる。その他の2セクションについては自己評価どおりで承認された。

④ 事業計画策定後の実施支援に関するセクション・・・池田  
事業報告書に基づき説明。

⑤ 需要動向調査に関するセクション・・・檜山  
事業報告書に基づき説明。

⑥ 新たな需要の動向に寄与する事業セクション・・・実谷

事業報告書に基づき説明。YouTube チャンネル登録数は4月14日現在で104名、総再生回数は7,051回とさらに増加。また、3月29日には「はっしーマルシェ」へ参加、東京県人会は4月28日の開催延期となったと説明。あわせて、海田さつまについて進捗を説明。

(質疑等)

<広島市 西上課長補佐>

「YouTube 活用などウィズコロナ、アフターコロナの活動を一緒に頑張っていきましょう」、と意見を述べられた。

上記の通り、④～⑥のセクションについて、事業報告書どおりの評価で承認された。

⑦ 地域経済の活性化セクション・・・富田  
事業報告書に基づき説明。

⑧ 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報共有セクション・・・今永  
事業報告書に基づき説明。

⑨ 経営指導員の資質向上セクション・・・渡邊  
事業報告書に基づき説明。

⑩ 事業評価検討委員会セクション・・・檜山  
事業報告書に基づき説明。

(質疑等)

<海田町 脇本課長>

創業者の傾向について、肌感覚でよいので教えてほしい、と質問があった。

(回答)

富田…会員事業者からの紹介などもあり、建設業が多い、と回答。

実谷・檜山…理美容、マッサージ関係が多い、と感じる。

これらについては、もともと出来高で雇用等されており、コロナ禍で収入減となり独立せざるを得なかった面もあるのではなかろうか、と回答。

<坂町 中井係長>

「経営発達支援計画での支援があったからこその実績だと思います。」との意見があった。

<府中町 谷口次長>

「府中町としても頑張っていきたい。」と述べられた。

上記の通り、⑦～⑩のセクションについて、事業報告書どおりの評価で承認された。

以上、全セクションの報告を修了し、最終報告書については、2週間以内に江川委員長へ一任することで委員全員が一致した。

#### 4. その他意見

本日出席された各委員から、次のような意見が述べられた。

<広島県 渡邊課長>

「セミナー等へのオンライン参加は難しくハードルが高いと感じます。YouTube、高校生とのコラボなど、少し背中を押してあげると、ウィズコロナ、アフターコロナの状況でも成果を出せるのだと実感しました。」と述べられた。

<広島市 西上課長補佐>

「事業者の発展が、地域の発展には不可欠です。今後ともよろしく願います。」と述べられた。

<海田町 脇本課長>

「三商工会での5年間連携していただきありがとうございます。引き続き連携して頑張っていたければと思います。」と述べられた。

<坂町 中井係長>

「これまでと同じように三商工会のネットワークを活かして頑張っていたければと思います。」と述べられた。

<府中町 谷口次長>

「まちの発展には事業者の力が不可欠です。近隣市町の事業者の皆様の意見も含めてやっていきたいと思しますので、よろしく願います。」と述べられた。

<江川委員長>

「平成30年7月西日本豪雨災害、コロナ禍で、商工会職員の活動が役に立ち、言い方は適切ではないかもしれないが、その力が示せたと思います。令和4年度以降それぞれの商工会で実施の際も、この連携を続けていただきたい。これまでの活動に感謝します。」と締めくくられた。

以上で事業報告について終了した。

次に当経営発達支援事業の特別会計について、実谷課長より決算報告を行った。予算の進捗に特に影響のあった専門家派遣について、手厚いコロナ関係補助金での活用・実施も多かったことから、当支援事業としての実施が少なかったこと等の説明がなされた。

#### 5. 閉会挨拶・・・府中町商工会 竹中会長

長時間に渡りご検討頂いた委員の方々に感謝を述べた。経営発達支援事業については、西日本豪雨災害の発生、新型コロナウイルス感染症まん延中での5年間の共同実施を終了、令和4年度から各商工会で実施することを確認した。5年間の共同実施で培ったノウハウや構築された協力支援体制を継続して事業者支援を行っていくことを宣言するとともに、結びには委員ならびに臨席された会場の皆様のご活躍を祈念して閉会のあいさつとした。

福間局長が閉会を宣言して、事業評価検討委員会は終了した。